

1 年 次 生

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズダンス I	毛利あゆみ・佐々木典子

科目概要

身体の柔軟性・敏捷性を発見し、自分自身の物に出来るように毎回の授業を行っていきます。ジャズの特徴であるアイソレーション・スタンス・リズム・バランスを学んでいきます。

到達目標

ウォームアップ・アイソレーションなどを通じて、どこまで自分の身体を思い通りに動かせるようにしていく事を到達目標としていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ウォームアップ・ストレッチ・筋力アップ	身体の様々な部分を動かし、その方法を学んでいきます。
第2回	スタンス&バランス	ダンサーとしてのポジショニング、重心の置き方を学んでいきます。
第3回	アイソレーション&リズム①	身体各部分でリズムを取り、その方法を学びます。
第4回	アイソレーション&リズム②	身体各部分を細かく刻み、リズムを取り、感じ、表現していきます。
第5回	クロスフロア	ジャズの基本のウォーキングからステップについてのトレーニングを行っていきます。
第6回	総合	ここまでで学んだ身体の使い方、リズムの取り方など試験前の最終確認を行っていきます。
第7回	クォーター末試験	振付作品を覚えて踊ります。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
踊る為に必要なバランスの良い筋肉の使い方が出来ているか、全身で表現し、テクニックが身についているかチェックをしていきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基礎強化	身体を自由に動かし、コントロールするの能力を更に強化していきます。
第2回	クロスフロア①	身体のバランス、ポジションの関係を学んでいき理解して使えるようにしていきます。
第3回	クロスフロア②	ターンに必要な軸を作り、バランス感覚を養い、自分の軸やバランスがどこにあるかを掴んでいきます。
第4回	クロスフロア③	連続して行うターンの練習をします。軸を感じながら重心移動についても学んでいきます。
第5回	クロスフロア④	ジャンプの応用を行っていきます。筋肉の柔軟性を学び、瞬発力をつけていきます。
第6回	表現とレベルアップ	表現方法やクロスフロアで学んだ事のスキルを上げていき、レベルアップをしていきます。
第7回	総合	ここまでで学んだターン、ジャンプ、身体の使い方など試験前の最終確認を行っていきます。
第8回	学期末試験	振付作品を覚えて踊ります。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
振付作品の中でイメージを膨らませ、自己表現が出来ているかをチェックしていきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズダンスⅡ	毛利あゆみ・佐々木典子

科目概要

正しいポジショニング・バランスを身につけ、身体を自由にコントロールできる方法を学んでいきます。ジャズ特有のフィーリングや美しいラインを全身を使って表現し、想像力の強化とその動きを習得していきます。

到達目標

テクニックのレベルアップを目指し、より柔軟な筋力・強い軸をバランスよく身につけ振付にもこれらを活かせるようにすることを到達目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	重心移動とバランス	ステップやポージングの組み合わせで、筋肉の動きと軸となる重心移動の動きを確認していきます。
第2回	表現の応用とレベルアップ①	表現の応用をしていきます。手、腕だけでもしっかりと表現が出来るようにしていきます。
第3回	表現の応用とレベルアップ②	表現の応用をしていきます。手、腕で表現できるようになってきたら身体全体を使って表現していきます。
第4回	テクニックと表現の強化①	身体のコントロールと想像力を形にするトレーニングを行っていきます。その形を自分がイメージ通りに動けているか確認します。
第5回	テクニックと表現の強化②	第4回で行ったトレーニングを行い、見た目のバランスや表現など、トータルの完成度を高めていきます。
第6回	総合	ここまで学んできた、重心移動、バランス、テクニック、表現方法を再確認して試験の為に最終調整を行います。
第7回	クォーター末試験	振付作品を覚えて踊ります。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
様々なステップや応用を身体全体を使って表現し、作品を通してイメージを膨らませているか、自己アピールがしっかりと出来ているかをチェックします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品振付①	作品のテーマ・コンセプト・曲を通じてイメージを明確にしていきます。イメージの共有も振付の1つです。
第2回	作品振付②	作品の振付をしていきます。振付の手、足、身体の動きを正確に覚え、表現できるようにしていきます。
第3回	作品振付③	引き続き作品の振付をしていきます。振付を覚えてきたら何度も繰り返し、確実な物にしていきます。
第4回	作品振付④	引き続き作品の振付をしていきます。振りが確実になってきたら表現方法などあっているかのチェックをしていきます。
第5回	作品振付⑤	引き続き作品の振付をしていきます。テクニック・表現力の強化を行いこれまでと踊り方を変えていけるようにしていきます。
第6回	作品固め①	振付を完全に覚えた状態から、よりテクニックを高めるよう踊りこみをしてミスが無くなるようにしていきます。
第7回	作品固め②	イメージ、動きの正確さ、身体のバランス、テクニックなどトータルの完成度を上げていき、よりよい作品にしていきます。
第8回	学期末試験	作品発表を行います。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
テクニック、表現力がバランスよく出来ていて、自己アピールと共に【見せる】という意識をもってその意識を十分に発揮できているかをチェックしていきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ストリートダンス I	瀧本祐一・水信貴子

科目概要

ストリートダンスで最も大切なリズムキープを中心に学んでいきます。基本的なリズムの取り方(アップ&ダウン)をマスターしていき音楽に合わせて大きく踊っていきます。普段の生活の中で音楽は欠かせないものです。色々な音楽を聴くことも勉強になります。

到達目標

基本のリズムキープをまずはマスターします。その後、体を大きく使って自分の動きの幅を広げていきます。また色々な音楽を聴くことで音を体全体で感じていくことを学び、その音楽でのリズムの取り方、音の取り方を自分なりに動き、オリジナリティを作っていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	HIPHOPとは	HIPHOPダンスとは何か、HIPHOPとは何かをダンスだけではなく意味も理解していきます。
第2回	リズムトレーニング	リズム取りの基本をマスターしていきます。アップとダウン、理解をして使い分けが出来るようにしていきます。
第3回	上半身、下半身の使い方	上半身と下半身の使い方を覚えていきます。どちらか一方だけではなく体全部が連動した動きに出来るようにしていきます。
第4回	アップテンポな曲に合わせたステップ	速い曲に合わせてステップを踏んでいきます。下半身だけではなく、上半身にも気が回っているか見ていきます。
第5回	ミドルテンポな曲に合わせたステップ	アップテンポな曲よりもゆっくりな速さになるのでその分、体を大きく使い、早取りしていないか気を付けていきます。
第6回	音楽のイメージの表現	曲の歌詞、雰囲気を考えてその曲にあった強弱を考えて踊り方を勉強していきます。
第7回	発表(クォーター末試験)	短いコンビネーションを覚えて発表していきます。踊り終わった後に、出来ていなかったところを考えて練習します。

クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
音楽をしっかりと聞いてリズムを取っているかどうかポイントとなっていきます。リズムの早取り(音よりも早く動く事)に十分に注意をしていき、気持ちよく踊っていければ好評価に繋がります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	HOUSEとは	HOUSEダンスとは何か、HOUSEとは何かをダンスだけではなく意味も理解しHIPHOPダンスとの違いを把握していきます。
第2回	リズムトレーニング	色々なリズムトレーニングを行っていきます。HIPHOPのリズム取り以外のリズムも覚え、違いを理解し表現していきます。
第3回	基本的なステップ	様々な基本ステップを覚えていきます。基本ステップを覚えたら体全体で表現できるようにしています。
第4回	ステップ&ターン	ターンの行い方を覚えます。ターンを覚えたら単発ではなくステップからの流れで出来るようにしていきます。
第5回	ステップ応用	やや複雑になっているステップの練習をしてマスターしていきます。細かいステップが音楽に合わせて正確に踏めるようにしていきます。
第6回	ステップからフロアーへ	フロアー(床)技を覚えます。流れを理解して体を使えるようにしていきます。単発で出来るようになったらステップから繋げていきます。
第7回	技	派手に見える技の練習をしていきます。自分を支える筋力があれば出来る物なので最低限の筋力はつけましょう。
第8回	発表(学期末試験)	ステップ、ターン、技が繰り込まれたコンビネーションを覚えて発表します。一つ一つの流れを大切にしていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
HIPHOPダンスとJAZZダンスとの違いを体で理解できていて表現が出来ているかが評価ポイントです。正確なステップを踏み、流れるような動きができていて力強い技が出来ているかも評価の対象です。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ストリートダンスⅡ	瀧本祐一・水信貴子

科目概要

HIPHOPを更に追求して動きに幅を出していきます。固い動き、柔らかい動きなどいろいろな動きを正確に使い分けていくことが出来るようにしていきます。曲に合わせてイメージをしていき全体の流れを考えながら踊っていきます。

到達目標

それぞれのジャンルの特徴や違いを理解して踊り分けを出来るようにして、様々な自分を表現する事を覚えていきます。色々なステップ、技を覚えたら今度はそれを自分なりに繋げていき色々な流れの中で出来るようにしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	New Jack Swingとは	New Jack Swingについて学んでいきます。HIPHOPやHOUSEなどとの違いを理解して踊り分けをしていきます。
第2回	リズムトレーニング	New Jack Swingのリズムトレーニングです。基本的にはHIPHOPと同じですがしっかりと違いを理解できるようにしていきます。
第3回	基本的なステップ	New Jack Swingの代表的なステップの練習を行っていきます。リズムキープを意識しながらステップを踏めるようにします。
第4回	New Jack Swingまとめ	ここまで習ってきたステップを組み合わせてコンビネーションを踊ります。ステップの繋がりが綺麗に出来るように意識します。
第5回	技	技練習を行っていきます。2クォーターと同様に自分を支える筋力をつけてスムーズに技が繰り出せるように心掛けます。
第6回	技のコンビネーション	技と技を合わせたコンビネーションを覚えます。闇雲に行うのではなく、頭でイメージをして体を動かしていきます。
第7回	発表(クォーター末試験)	長めのコンビネーションを覚えて発表します。正確に振付を覚えて自分の個性も取り入れていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
ステップと技のバランスを考えながら踊っていき、どちらも体を大きく使える事をポイントとします。体全体でダイナミックに踊りながら、タイミングよく技を決められるかも評価のポイントとします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムトレーニング	リズムの取り方にこだわりを持って曲に合わせたリズムトレーニングを行っていきます。リズム取りだけで魅せられるようにしていきます。
第2回	表現方法	ストリートダンスでも感情表現であったりその曲に合った表現が必要な事を学んでいきます。
第3回	リズム取り・レベルアップ	アップ、ダウン以外にも前ノリ、後ろノリ、横ノリを使ってそれぞれのバリエーションを増やしていきます。
第4回	ステップ・レベルアップ	動きにバリエーションをつけていきます。同じステップでも体の使い方で見え方が変わる事を覚えます。
第5回	技・レベルアップ	ここまで習ってきた技の精度を上げていき、10回行って10回出来るようにしていき、自分の武器にしていきます。
第6回	まとめ①	1年間のまとめに入ります。コンビネーションを覚え、ただ踊るのではなく表現方法などを考えながら踊ります。
第7回	まとめ②	コンビネーションを覚えて、表現方法も考えながら踊れるようになったらステップや体の使い方の細かいところまで意識します。
第8回	発表(学期末試験)	ここまで習ってきたステップ、技、表現方法を頭に入れコンビネーションを覚えて発表をします。

学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
表現方法が自分よがりにならず、曲であったり振付者の意図を理解して踊っているかがポイントになります。ストリートダンスの中でも色々あるジャンルをそれぞれ表現できているかもポイントとします。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	オールドスクール I	太田幸希

科目概要

SOUL DANCE・LOCK DANCE・HOUSE DANCEの基礎を学んでいきましょう。動きだけではなく、ステップやムーブに纏わる歴史なども一緒に覚えていきましょう。コンビネーションや振り付けも正確に踊れることを目指した上でダンサーとしての個性も磨いていきましょう。

到達目標

ストレッチ・アイソレーション・リズムの基礎を高めつつ、ジャンルの特性も同時に高めていきます。ムーブ・ステップの音取りやリズムがそれぞれのジャンルで異なります。理解して使い分けができるようにしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 1	LOCK DANCE&SOUL DANCE 特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
第2回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 2	LOCK DANCE&SOUL DANCE 特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
第3回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 3	LOCK DANCE&SOUL DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
第4回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 4	LOCK DANCE&SOUL DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
第5回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 5	ステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第6回	LOCK DANCE&SOUL DANCE 6	より高度なステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第7回	テスト	振り付けを覚え正確に踊り、かつLOCK,SOULダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常20%とします。  
LOCKダンス、SOULダンスのジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。また形や止め方など、正確に踊りこなすだけではなく個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	HOUSE DANCE 1	HOUSE DANCE特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
第2回	HOUSE DANCE 2	HOUSE DANCE特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
第3回	HOUSE DANCE 3	HOUSE DANCE代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
第4回	HOUSE DANCE 4	HOUSE DANCE代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
第5回	HOUSE DANCE 5	HOUSE DANCE細かくて高度なムーブ・ステップを覚えていきます。
第6回	HOUSE DANCE 6	ステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第7回	HOUSE DANCE 7	より高度なステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第8回	テスト	振り付けを覚え正確に踊り、かつHOUSEダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常20%とします。  
HOUSEダンスのジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。またリズムキープしたまま細かいステップを正確に踊りこなす、個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	オールドスクールⅡ	太田幸希

科目概要

SOUL DANCE・LOCK DANCE・HOUSE DANCE・PUNKINGの基礎を学んでいきましょう。動きだけではなく、ステップやムーブに纏わる歴史なども一緒に覚えていきましょう。アクロバティックな大技も取り入れ、動きの引き出しを増やしていきましょう。

到達目標

引き続き、1クォーターで学んできた基礎の練習をして活かしながら、そのジャンルの独自の音遊びが出来るにしていけます。基礎を理解して表現できるようになっていきたら応用も学んでいき、それぞれのジャンルの踊りをマスターしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PUNKING 1	PUNKING 特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
第2回	PUNKING 2	PUNKING 特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
第3回	PUNKING 3	PUNKING 代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
第4回	PUNKING 4	PUNKING 代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
第5回	PUNKING 5	ステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第6回	PUNKING 6	より高度なステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
第7回	テスト	振り付けを覚え正確に踊り、かつPUNKINGを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常20%とします。  
PUNKINGというジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。腕の出し方、リズムの取り方を正確に表現し、個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	LOCK DANCE アクロバット 1	代表的なステップやムーブにLOCKダンスで使われる大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
第2回	LOCK DANCE アクロバット 2	より高度な代表的なステップやムーブに大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
第3回	HOUSE DANCE アクロバット 1	代表的なステップやムーブにHOUSEダンスで使われる大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
第4回	HOUSE DANCE アクロバット 2	より高度な代表的なステップやムーブに大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
第5回	SOUL・LOCK・PUNKING・HOUSE	色々なジャンルを混ぜた上で、各ジャンルの特性をうまく引き出せるようにしていきます。
第6回	SOUL・LOCK・PUNKING・HOUSE	特性を引き出せるようになってきたら、細かい部分まで気を使って振付を覚えていきます。
第7回	SOUL・LOCK・PUNKING・HOUSE	各ジャンルを使ったソロ作り、その特性が活かしているか確認していきます。
第8回	テスト	振り付けを覚え正確に踊り、かつ各ジャンルダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常20%とします。  
各ジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。正確に踊りこなすだけではなく個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	クラシックバレエ I	佐々木典子

科目概要

クラシックバレエはあらゆるダンスの基本となります。自身の身体についての理解を深め、ほかのジャンルに繋がる知識を身に付けます。春学期は基本的な身体のポジションや使い方を覚えて身体の軸を意識しターンやジャンプ等の基本的な動作を反復して練習します。

到達目標

クラシックバレエの基本姿勢、基本動作を理解し、ダンサーとしての身体作りの基盤を作ります。自身の身体の特質を理解し、ケアしながら踊れる身体作りを目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	正しい立ち方	基本的なストレッチやトレーニングを通して正しい姿勢や筋肉の使い方を学んでいきます。
第2回	ポジショニング①	1～6までの足のポジションを覚えて簡単な内容からパーレッションに入っていきます。
第3回	ポジショニング②	少しずつ動きを広げながらバレエに必要な身体のポジションを覚えていきます。
第4回	ポジショニング③	正しいポジション、正しい動作を覚えているか、覚えたら正しく行っているか丁寧に確認していきます。
第5回	パーレッション①	パーレッションにおける簡単な動作を繰り返し行っていきます。繰り返し行う事でパターンを覚えていきます。
第6回	パーレッション②	繰り返し行ってきたパーレッションの順番を覚えるだけでなく、より正確に動かせるようにしていきます。
第7回	試験	パーレッション①②で行って来た内容の確認をして覚えているか、正しく行っているかを採点していきます。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
基本姿勢を身に付けているか、正しいポジションを覚えているか、正しく理解して使えているかを採点します。1回やっただけでは出来ない動きもあるので反復練習が必須になります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ターンへ向けてのトレーニング①	バレエに必要なアン・ドウオールを意識を、パーレッションの中で丁寧に解説していきます。
第2回	ターンへ向けてのトレーニング②	回転時に美しい姿勢を保つためのバランスを学びます。身体の軸がどこにあるのかを感じ、覚えていきます。
第3回	ピルエット	移動せず片足で回転します。力で回ろうとせず、正しい形、流れを覚えて回転するようにしていきます。
第4回	ピケターン	伸ばした片足を軸に回転しながら移動していきます。体重移動を考えながら練習をしていきます。
第5回	ピルエット コンビネーション	ステップを交えたピルエットの練習を行っていきます。どの形からでも確実に回れるようにしていきます。
第6回	ターン コンビネーション①	ピケターンやシェネを交えたコンビネーションを練習していきます。それぞれのターンの行い方を意識します。
第7回	ターン コンビネーション②	様々なターンを交えたコンビネーションを練習していきます。1つつ確実に回れるようにしていきます。
第8回	試験	ターン コンビネーション①②で行って来た内容を採点します。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
様々なターンの種類と特質を理解し、基本のポジションを通り適切な形で行えているかを採点していきます。



ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	クラシックバレエⅡ	佐々木典子

科目概要

秋学期はジャンプを中心に授業を行っていきます。小さなジャンプから大きなジャンプまで、様々な種類のジャンプを覚えます。基本を踏まえる事で更に高度なテクニックへと発展できるよう解析していきます。

到達目標

ジャンプに必要な瞬発力、跳躍力を身に付け、一つ一つの動きを正確に理解しアンシェヌマンを行えるようにします。アンシェヌマンの流れを理解する事により、踊りの流れや滑らかさが備わります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	スモールジャンプ①	ジャンプについての基本動作を確認していきます。重心の移動を意識します。
第2回	スモールジャンプ②	両足でのジャンプについて解説していきます。両足で飛ぶので力のバランスを考えていきます。
第3回	スモールジャンプ③	片足でのジャンプや移動を伴うジャンプについて解説していきます。実際に飛べるようにしていきます。
第4回	ジャンプ①	より大きなジャンプへ向けてのトレーニングを行います。力のバランスを考えて練習していきます。
第5回	ジャンプ②	グラン・ジュテやグラン・パドゥ・シャについて解説していきます。実際に飛べるようにしていきます。
第6回	ジャンプ系コンビネーション	スモールジャンプ、大きなジャンプをそれぞれアンシェヌマンにて行っていきます。
第7回	試験	授業内で行ったスモールジャンプ、大きなジャンプのアンシェヌマンを採点していきます。

クォーター末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
跳躍時の基本動作を踏まえて様々な種類のジャンプを覚えて実践できているかどうかを採点していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アンシェヌマン(アレグロ)①	アレグロ中心のアンシェヌマンを行っていきます。
第2回	アンシェヌマン(アレグロ)②	アレグロ中心のアンシェヌマンを更に発展させた内容で行っていきます。
第3回	アンシェヌマン(ワルツ)①	3拍子のリズムで踊ります。リズム感を失わずに踊れるようにしていきます。
第4回	アンシェヌマン(ワルツ)②	更に発展させた内容で授業を進行していきます。基本を忘れずにしていきます。
第5回	アンシェヌマン(グランワルツ)①	大きなジャンプのアンシェヌマンを中心に行っていきます。力任せに飛ばないようにしていきます。
第6回	アンシェヌマン(グランワルツ)②	更に発展させた内容で授業を進行していきます。基本を忘れずにしていきます。
第7回	アンシェヌマン(グランワルツ)③	更に発展させ、より高度な内容で授業を進行していきます。基礎を疎かにしていると難しく感じる事もあります。
第8回	試験	授業内でやってきた様々なアンシェヌマンを採点していきます。

学期末試験評価方法

出席30%、テスト50%、平常点20%とします。  
様々なジャンプの種類と特質を理解し、基本のポジションを通り適切な形で行えているか採点していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	コンテンポラリージャズ I	大久保昌美

科目概要

ダンサーになる為の身体をじっくりと作っていきます。柔軟性を高め、筋力アップをしながら身体の仕組みを学びます。心技一体を整え、自分の身体を開発していきましょう。

到達目標

自分の身体の体格、体質を知りボディメイクしていきます。基本的な動きを学び、反復練習の重要性を実感しながら、自分の体の動かせる範囲を増やしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ポジション	人間の骨格を理解し、姿勢を整えてバランス良く立ちます。自分の中心と自分の弱点を見つけます。
第2回	呼吸法	人間の基本的な動作「吸う・吐く・止める」を観察し、身体を最大限に動かせる呼吸を見つけます。
第3回	ストレッチ	ポジションと呼吸法を修得し、筋肉の伸縮を利用して身体の伸び・縮みを観察していきます。
第4回	筋トレ	ポジションと呼吸法を修得し、筋肉の種類・特徴を理解し、自分の弱点を補うトレーニングをしていきます。
第5回	ウォームアップ	1～4を取り入れたアップを覚えて、身体を隅々まで大きく動かしていきます。
第6回	クールダウン	呼吸の整え方、筋肉のほぐし方、トレーニング後のケアを学び、クールダウンの重要性を理解していきます。
第7回	試験	短い振付を覚え、皆の前で、身体を大きく使って踊ります。

クォーター末試験評価方法

【出席40%・テスト30%・平常点30%】 バランスの取れた姿勢、整った呼吸、しなやかな動きと力強さで大きく踊れるようになったかを見ます。毎日のトレーニングが重要です。出欠席、レッスン態度を厳しく評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コントラクション	呼吸で「吐く」時に収縮(contraction)する動き。身体を力強く使う為のテクニックを学びます。
第2回	リリース	呼吸で「吸う」ときに弛緩(release)する動き。身体をしなやかに使う為のテクニックを学びます。
第3回	フラットバック	収縮(contraction)と弛緩(release)をバランスよく使うテクニックを学びます。
第4回	バランス	上体を引き上げたポーズを取りキープします。呼吸法により動きを留めるテクニックを学びます。
第5回	ポール・ド・ブラ	腕の運びを覚えます。正しいポジション(姿勢)で腰・背中・肩・首が連携する腕の動きを学びます。
第6回	アイソレーション	身体の各部位を動かします。骨格と筋肉の役割を理解しながら、細かい振付に対応できる動きを学びます。
第7回	フローアアップ	1～6を取り入れたアップを覚え、身体に染み込ませていきます。
第8回	試験	振付を覚え、皆の前で踊る。イメージ通り動けたか、何が足りないか考え、次の目標を決めます。

学期末試験評価方法

【出席40%・テスト30%・平常点30%】 体のつくりを理解し、ダンサーに必要な筋力、柔軟性、持久力が身に付いてきたか、呼吸を伴いダイナミックに踊れるようになったかを評価します。レッスン中の取り組む姿勢、持続性、集中力等の精神面も評価します。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンテンポラリージャズⅡ	大久保昌美

科目概要

春学期で身に付けた基礎を応用していきます。ターン、ジャンプ、フローのプレパレーションを覚え、組み合わせたコンビネーションを踊ります。体重移動のコントロール、洗練されたラインを学びます。

到達目標

振付を踊る際に、身に付けた基礎を発揮し、自信をつけます。イメージを膨らませ、手先(身体)と顔に表情を出し、より大胆でダイナミックな動きにしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ターン	基礎の軸(中心)を取り、ピルエット・ピケ・シェネを学びます。体重移動が正確にできるよう練習します。
第2回	ジャンプ	アン・ポアテ、グランジュッテ。重心をコントロールし正確なプレパレーションからのジャンプを学びます。
第3回	フロー①	重心を腰より下におろし、床での動きを学びます。四つん這いで体重移動します。
第4回	フロー②	立位から床へ入ってゆくテクニックです。背面からのバックロール、座位からのバックロールを学びます。
第5回	フローコンビネーション①	ターン&ジャンプから床へ入るコンビネーションをします。身体の反動を使った滑らかな動きを学びます。
第6回	フローコンビネーション②	床でのターン&ジャンプコンビネーションです。柔軟性と筋力を要求され、丁寧に取り組む方法を学びます。
第7回	119	振付を覚え、皆の前で踊ります。イメージ通り動けたか、何が足りないか考え、次の目標を決めます。

クォーター末試験評価方法

【出席40%・テスト30%・平常点30%】軸を取り、重心の移動、正確なプレパレーションが出来ているか、余計な力を解き全身をしなやかに使ってダイナミックに動いているか、モチベーションを高くし、日々の反復練習を怠っていないか厳しく評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コンビネーション振付(アンサンブル)	基礎を応用します。振付を正確に覚え、曲を聴き、動きの流れや強弱を確認していきます。
第2回	コンビネーション振付(アンサンブル)	覚えた振付を曲に合わせてイメージを膨らませます。周りの人の踊りもよく見てみましょう。
第3回	コンビネーション振付(アンサンブル)	繰り返し踊り、曲と動きをなじませていきます。動きが小さくなっていないか確認します。
第4回	モダンダンス作品振付	覚えた振付にフォーメーションをつけていきます。全体を把握して、自分のポジションをキープして踊ります。
第5回	モダンダンス作品振付	振付を踊りながら移動します。周りのダンサーと動きを合わせ、自分の導線をキープします。
第6回	モダンダンス作品振付	繰り返し踊り込みます。ダンサーの呼吸を揃え、作品の空気(雰囲気)を作っていきます。
第7回	モダンダンス作品振付	振付を細かく掘り下げ、作品の中に自分の存在を表現していきます。
第8回	試験	作品発表です。イメージ通り作品を踊れたか、どのように伝わったか、次の目標を決めます。

学期末試験評価方法

【出席40%・テスト30%・平常点30%】正確な動き、柔軟性、しなやかにダイナミックな動きが出来ているかを見ます。モダンダンスの振付を理解し、曲と動きをマッチングさせ作品の中で自己表現できているかも重要です。1年間の成長を評価します。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	タップダンス I	竹田祐子

科目概要

ダンスの中でも一見特殊に思えるタップダンスですが、進行するにしたがって楽しくなってくるのがこのダンスの魅力です。リズムを耳で覚え、目で見ても真似し、身体全体を動かしながら同じことを繰り返して身に付けていきます。基本を大切に。

到達目標

1クォーターでは基本のステップを、2クォーターでは基本のステップを組み合わせたステップを習得していきます。店舗も含めて足の動きを無理なくスピードアップできるようにします。またコンビネーションを覚えて踊る事に慣れましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	タップを知り、靴を知る	タップ用の靴の構造を理解し、タップとはどんなものなのかを知っていきます。
第2回	ボール・ヒール・スタンプ	基本の足の使い方を覚えていきます。それぞれの使い方を覚えて使い分けをしていきましょう。
第3回	シャッフル	音の出し方と足の使い方を覚えていきます。どんどん音を鳴らしていきましょう。
第4回	スラップ	シャッフルとの違いに気をつけながら練習をしていきます。使い分けが出来るようにしていきます。
第5回	リズムとは	タップダンスの音楽的な要素「リズム」について勉強していきます。他のダンスにも応用していきます。
第6回	応用	これまでに習ってきたステップを組み合わせて、それぞれの違いを理解して踏めるようにしていきます。
第7回	テスト	振付を覚えて少人数で発表をしていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
実技による評価となります。出席をした際に得られる貴重なポイントの説明によって平常点はもちろん、テストの段階ではかなりレベルアップできるものと思います。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	スカッフル	シャッフルとの違いに気をつけながら練習をしていきます。使い分けが出来るようにしていきます。
第2回	タイムステップ①	ステップを覚えて練習をします。ステップを覚えたら形も意識していきます。
第3回	タイムステップ②	正確な音が出せるように練習していきます。最初は出せなくても必ず出せるようになります。
第4回	タイムステップ③	複数のパターンを覚えます。ステップを覚えたら上半身の動きもつけていきます。
第5回	ターン①	足と体の使い方の説明を行い、実際にターンをしていきます。
第6回	ターン②	何度も繰り返し練習をして、ターンだけでなく音を鳴らせるようにしていきます。
第7回	応用	これまでのステップを組み合わせて実際に音を鳴らせるようにしていきます。
第8回	テスト	振付を覚えて少人数で発表をしていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
実技による評価となります。それぞれのステップの使い分け、音の出し方を理解しているか、普段の授業をしっかりと受けていれば必ず理解できるものと思います。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	タップダンスⅡ	竹田祐子

科目概要

前期で習得した足の動きをさらに磨いて、シャープな動きとパンチあるハードな動きを覚えます。さらに重心の移動を覚えることで、アクセントをどこで決めることができるかを知ります。

到達目標

到達目標正しい足と体の使い方を習得し、リズムを正確に鳴らせるようになりましょう。コンビネーションを理解し、自分なりに踊りこなせるようになりましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2クォーターの復習	2クォーターで行ったステップ、ターンがマスターできているかの確認をします。
第2回	パドル&ロール 1	ステップを覚えて何度も練習をします。音が正確に出せているかチェックしていきます。
第3回	パドル&ロール 2	色々なパターンを覚え、徐々に早くステップを踏む練習をしていき、音が確実に出せるようにしていきます。
第4回	プルバック 1	足の使い方を練習します。身体の重心がどこにあるか考えながら練習していきます。
第5回	プルバック2	足と体を同時に使って練習します。確実に音が鳴らせるようにしていきます。
第6回	応用	これまでのステップを組み合わせて踊り込みをします。各ステップを理解しているか確認もしていきます。
第7回	テスト	少人数で振り付けを踊ってテストします。

クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
この時期の作品制作等による評価もあると思います。作品の中での動き、また努力などの評価はかなり大きくなるので、こうしたことに大いに力を入れていきましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3クォーターの復習	2クォーターで行ったステップや技をマスターできているかの確認をします。
第2回	サード、リフ	細かい足の使い方を習得していきます。足先だけにならず踊っていることを心掛けます。
第3回	ジャックナイフ 1	プルバックの応用技です。プルバックを理解して踏めているかがここでははっきりわかります。
第4回	ジャックナイフ 2	何度も繰り返し練習をして、音を鳴らせるようにしていきます。音が鳴るようになったら綺麗にならせる事を意識します。
第5回	ウイング 1	足の使い方を練習します。身体の重心を考える上達が速くなります。
第6回	ウイング 2	足と体を同時に使って練習しましょう。ステップの踏み方を理解して確実に音を鳴らせるようにしていきます。
第7回	応用	これまでのステップを組み合わせて踊り込みをします。技の行い方を理解しているかここでわかります。
第8回	テスト	少人数で振り付けを踊ってテストします。

学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
授業をしっかり受けていれば必ず、かなりレベルアップできる頃です。差がつくのもこの頃です。しっかり休まず受けることを勧めます。欲が出て極めに入るのもこの時期です。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	シアタージャズ I	武井一仁

科目概要

オーソドックスなジャズダンスで、ミュージカルシーンなどでよく見られるスタイルです。そこにはダンスだけではなく、演劇的要素も加わってきます。したがって振付を覚える段階で、作品のイメージ、シチュエーション、キャラクターを理解し、シアタージャズ特有のニュアンスを見極めることが大切です。

到達目標

エクササイズを通して自分の身体について知り、柔軟性やボディコントロールを身に付けます。そのために必要な筋力を鍛え、様々なステップを習得し、シアタージャズ特有の動きを身に付けます。ただ踊るのではなく、シーンや役どころ、キャラクターを演じることを目指してください。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	シアタージャズというものを理解しイメージを持ちましょう。授業の取り組み方もレクチャーしていきます。
第2回	自分の身体を知る	エクササイズを覚えウォーミングアップをしていく中で、自分の身体について理解し、コントロール出来るようにしていきます。
第3回	基本トレーニング/ストレッチ	柔軟性が要求される踊りなので、ストレッチ法を覚えて柔軟性を身に付けます。これには毎日のトレーニングが必要になります。
第4回	基本トレーニング/アイソレーション	身体の各部位を独立して動かす「アイソレーション」を学びます。各科目に特徴があるので、一緒にならないよう気を付けましょう。
第5回	基本トレーニング/ステップ	基本のステップを覚え、動きの中で自分の身体をコントロールするスキルを身に付けます。
第6回	シアタージャズの振付を覚える	振付を覚え、その中にあるシチュエーションやキャラクターを理解し、人(観客)に見せるように踊ります。
第7回	覚えた振付を人に見せる(試験)	1クォーターの試験になります。各授業で指導されたことを忘れずに実践してみましょ。

クォーター末試験評価方法

コンビネーションによる実技試験。試験50%、平常点30%、出席20%  
 いかにシアタージャズを自分のものになっているか、初の振付作品の理解、表現度と自分の身体をどこまで理解し、自分の意識で動かしているかなどをポイントに評価していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	筋力トレーニング/脚力をつける	どんな踊りでも、自分の肉体をコントロールするには筋力が必要です。まずは脚力から付けていきましょう。
第2回	筋力トレーニング/腕力をつける	アームスを動かす、アームスを止めるなどの動きには腕力が必要になってきます。腕の筋肉を鍛えましょう。
第3回	筋力トレーニング/体幹を鍛える	大きく踊るには強い体幹が必須です。体幹を鍛えて身体の可動域を広げ、ダイナミックな動きを身に付けましょう。
第4回	筋力トレーニング/総合力をつける	ダンスは全身で踊るものです。脚・腕・上半身・首・頭などそれぞれを意識し、各部位のつながりを感じて踊りましょう。
第5回	振付を覚える/正確性	ミュージカルシーンの振付を覚えます。まずは正確に振りを取ることを心掛けてください。
第6回	振付を覚える/ストーリー性	ダンスの中にストーリー性があります。動きの中にセリフや感情が込められるように踊ってみましょう。
第7回	振付を覚える/キャラクター	ストーリーがある以上、その役どころやキャラクターが存在します。自分の演じるキャラクターをイメージしましょう。
第8回	覚えた振付を表現する(試験)	2クォーターの試験になります。ただ踊るのではなく「演じる」つもりで踊ってみましょう。

学期末試験評価方法

コンビネーションによる実技試験。試験50%、平常点30%、出席20%  
 振付を正確に踊れているか、その踊りにシチュエーションや役どころ、キャラクターが盛り込まれているかをポイントに評価していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	シアタージャズⅡ	武井一仁

科目概要

3クォーターではショーダンスにチャレンジします。スウィングジャズにのせて軽快なダンスシーンを繰り広げましょう。4クォーターではラテンダンスを習得します。シアタージャズの基本ステップは、ラテンダンスの要素が多く含まれます。リズムの取り方やグルーヴなど、他のダンスには無いニュアンスを学びましょう。

到達目標

スウィングジャズとは？ そののり方や弾むグルーヴをとらえてください。またハットを使っての踊りも習得していきます。ラテンダンスの基本を理解し、シアタージャズの奥行きを深めましょう。またバレエテクニックも必須なので、合わせて習得し踊りに取り入れていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ピルエットの習得	ピルエットとは「片足を軸として回転するテクニック」です。いかに安定して美しく回れるかがポイントになります。
第2回	シェネの習得	シェネとは「片足で半回転ずつ、連続して回転を続けるテクニック」です。無駄な力を使わずスムーズな回転がポイントです。
第3回	ジャンプの習得	様々なジャンプがありますが、ここでは基本的な飛び方を身に付けます。踏切りから着地までの、空中でのフォームがポイントです。
第4回	振付を覚える／正確性	振りだけではなく、スウィングジャズ持つビートを身体に入れて、グルーヴをつかんでください。
第5回	振付を覚える／ハットの使い方	踊りながらハットの着脱を覚えましょう。いかにスムーズに、かつオシャレにハットを扱えるかがポイントになります。
第6回	振付を覚える／ショーアップ	ビッグバンドの演奏するスウィングジャズに負けず、ダイナミックに踊ってください。いかにショーアップするかがポイントです。
第7回	覚えた振付をパフォーマンス(試験)	3クォーターの試験になります。オンステージしたつもりで、ショーアップして踊りましょう。

クォーター末試験評価方法

コンビネーションによる実技試験。試験50%、平常点30%、出席20%  
振りは正確に踊れているか、スウィングジャズの音やビートを理解しているか、ハットの扱いはスムーズか、総合的にショーアップされているかなどを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ラテンダンスのステップ／ウォーク	ラテンダンス特有のウォーキングを習得します。頭を上下に動かさずに、リズムに乗って歩くことから始めてください。
第2回	ラテンダンスのステップ／身体の使い方	ラテンダンス特有の身体の使い方を習得します。肩、腰、アームスなど、滑らかに、かつリズムカルに動かすことがポイントです。
第3回	ラテンダンスのステップ／リズムに乗る	歩き方や身体の使い方に注意して、様々なステップにチャレンジします。頭を上下に動かさずにリズムに乗ってください。
第4回	振付を覚える／正確性	まず振りを正確に入れてください。重心の移動がスムーズになるように心がけ、その中にリズムを入れましょう。
第5回	振付を覚える／ニュアンス	流れるような動きの中に強弱をつけることがポイントです。他のダンスと違うニュアンスをとらえてください。
第6回	振付を覚える／フォーメーション	覚えた振付にフォーメーションを付けます。自分本位の感覚でステップをするのではなく、決められた角度、スタンスを守ってください。
第7回	振付を覚える／ペアダンス	付けられたフォーメーションを、2人組になってペアで踊ります。2人で踊っている姿を、前面にアピールしてください。
第8回	覚えた振付を2人で踊る(試験)	4クォーターの試験になります。「ペアで踊る」ことで終わらず、2人の世界を表現してください。

学期末試験評価方法

コンビネーションによる実技試験。試験50%、平常点30%、出席20%  
振りは正確に踊れているか、ラテンダンスのニュアンスや身体の使い方は理解しているか、ペアで踊るためのシビアなフォーメーションは守られているか、ペアの世界を表現できているかなどを評価します。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォーカルパフォーマンス I	嶋村祐子

科目概要

発声の基礎を学び自分の中にある声を響かせのびやかに楽しく歌うためのトレーニングをしていきます。楽曲はダンスを踊る為に欠かせないものです。リズム感も養い身体から音楽が奏でられるようにしていきましょう。

到達目標

身体を楽器としてコントロールできるようになり響きのある安定した声で歌えるようにしていきます。無理に声を出すことをせず、呼吸法を学び、ダンスにも活かしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介	自己紹介と授業の説明を行います。
第2回	1人ずつ歌う	自分で好きな曲を持参して1人ずつ歌ってもらいます。
第3回	発声の仕組み	腹式呼吸と胸式呼吸の違いを学び、歌うために必要な呼吸法と響鳴について勉強していきます。
第4回	体軸とストレッチ	呼吸法を理解して、身体を楽器として使うための方法を学んでいきます。
第5回	モチーフ曲①	課題として出される楽曲のモチーフを理解して応用していく力をつけていきます。
第6回	モチーフ曲②	色々な楽曲のモチーフの理解を深めて歌うときに説得力をつけていきます。
第7回	授業内試験	課題曲を1人ずつ歌っていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%とします。  
身体全体を楽器としてコントロールする意識が育まれ歌うときにも活かそうと努力しているかを評価していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	母音の響き	口蓋を上げ、開く練習をしてよりよい声の出し方を勉強していきます。
第2回	子音に必要な筋肉	舌、唇、表情筋を動かすトレーニングを行います。力任せではなく発声のしやすさを覚えていきます。
第3回	音を聴き分ける耳	様々なサウンドを聴き分けられる耳を持つためのトレーニングをしていきます。
第4回	総合的トレーニング①	頭で理解していることを身体で表現できるように何度もトレーニングをして定着させていきます。
第5回	総合的トレーニング②	定着させられるようになったらどんな曲にも対応できるように様々なシチュエーションでトレーニングしていきます。
第6回	英語曲での応用①	子音と母音の関係性をトレーニングしていきます。
第7回	英語曲での応用②	
第8回	授業内試験	課題曲を1人ずつ歌っていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%とします。  
余裕を持ってサウンドを聴くことで、自分の声の安定性をコントロール出来、今まで以上に気持ちよく歌えるようになっているか評価していきます。



ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォーカルパフォーマンスⅡ	嶋村祐子

科目概要

歌の土台になる基礎を更に深めるとともに表現するためのテクニックをトレーニングしていきます。ダンスにも表現力は必要な事です。ヴォーカルとダンスを分けて考えるのではなく同じ「音楽の表現」と理解する事が大事です。

到達目標

トレーニングで手に入れた基礎とテクニックを歌の中で活かし表現力へと繋げていきます。基礎を理解しテクニックの使い分けを行う事により様々な表現が出来ます。色々な声の表情を出せるようにしていきましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音域を広げる①	中音域と低音域を学び、それぞれの音域を出せるようにトレーニングしていきます。
第2回	音域を広げる②	高音域・ファルセットについて学びます。無理なく出すためのトレーニングを行っていきます。
第3回	音域を広げる③	高音域・ファルセットと地声の違いを学びます。それぞれの音域、出し方のトレーニングを行っていきます。
第4回	Voice Change	それぞれの音域を滑らかに声を繋げられるようにトレーニングしていきます。
第5回	モチーフ曲①	課題として出される楽曲のモチーフを理解して応用していく力をつけていきます。
第6回	モチーフ曲②	色々な楽曲のモチーフの理解を深めて歌うときに説得力をつけていきます。
第7回	授業内試験	課題曲を1人ずつ歌っていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%とします。  
Voice Changeなどのテクニックを手に入れ更に深みのある表現力へ繋げているかを評価していきます。曲ごとのモチーフも理解しているかを評価していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムは表現力	16BeatとAfter Beatについて学んでいきます。それぞれのリズムを出せるようにトレーニングしていきます。
第2回	日本語と英語	歌詩を伝える為のテクニックを習得していきます。
第3回	Grooveでつなげる①	発声の基礎も表現力もGrooveで繋がります。それを理解して体現できるようにしていきます。
第4回	Grooveでつなげる②	引き続きGrooveについて学び、繋げていけるようにトレーニングしていきます。
第5回	モチーフ曲①	頭で理解していることを身体に繋がられるようにトレーニングを行っていきます。
第6回	モチーフ曲②	更に深めていき定着させられるようにトレーニングを行っていきます。
第7回	モチーフ曲③	考えて行うのではなく身体全体で感じて歌えるようにトレーニングを行っていきます。
第8回	授業内試験	自分で選んだ曲を持ってきてここまで学んだ事を披露してもらいます。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%とします。  
【音を感じて踊る】というダンサーとしての強みを歌でも活かし「音を感じてのびのび楽しく歌う」事が出来ているかを評価していきます。

## ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	パフォーマンス総合制作 I	山崎拓也

### 科目概要

構成の立て方・演出のつけ方・表現方法・振付の仕方を体験し、作品制作のノウハウを掴んでいきます。皆とのディスカッションを通じて個々の表現の幅を広げ、オリジナルを追求した作品作りをしていきます。実際に人前で踊ることを経験し見ている人の反応を体感して作品制作を行っていきます。

### 到達目標

全員が振付を経験する事により構成の立て方、演出のつけ方、振付の仕方、伝え方などを覚え、2年生に上がるまでに自分の振付に対する自信をつけます。初めて振付を行う学生は最初は難しく感じるかもしれませんがどんどん自分から発信をして度胸をつけていきます。

### 授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品制作とは	大まかな作品制作の手順を説明し、参考作品を見て自分たちで作る作品のイメージを創っていきます。
第2回	グループ編成	課題曲制作を行う為、グループ分けをします。グループ毎に話し合いをして方向性を決めていきます。
第3回	構成のつけ方	曲の流れを掴み、カウントを書き出してグループ毎に構成を考えていきます。
第4回	振付①	振付を考えて振付のアイデア出し合いそれを形にしていきます。
第5回	振付②	全体の流れを作り、更に構成を練って振付を行っていきます。
第6回	振付③・最終確認	クォーター末試験の為に作品の最終確認をして直しや踊りこみを行っていきます。
第7回	作品発表(クォーター末試験)	ホールでグループ毎に作品発表を行います。発表後、各グループの作品についてディスカッションをしていきます。

### クォーター末試験評価方法

出席40%、試験(作品制作)30%、平常点30%

作品を創るには仲間とのコミュニケーションを取る事が大切です。時間の使い方、作品制作への姿勢、グループとして機能していたか評価していきます。また、日頃の態度(遅刻、マナーなど)も重要視していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	グループ作品のプラン発表	1クォーターの反省会を行い、2クォーターのグループ作品のプランを話し合い決めていきます。
第2回	リハーサル、スケジューリングについて	本番までの日程を逆算してリハーサルを組み、何をいつまでに行うかのスケジュールを立てていきます。
第3回	ステージについて・振付①	踊る場所や内容を理解して作品のイメージを膨らませていき、振付を行っていきます。
第4回	舞台照明について・振付②	照明の専門用語・効果などを勉強していきます。その効果を踏まえて作品の構成を考えます。
第5回	舞台衣装について・振付③	どんな衣装で踊りたいか話し合います。作品や振付にあった衣装になるように皆で案を出していきます。
第6回	振付④	作品の隅々までしっかりと作り込まれているか動画を撮って確認していき、修正を行っていきます。
第7回	振付⑤・最終確認	クォーター末試験の為に作品の最終確認をして直しや踊りこみを行っていきます。
第8回	作品発表(学期末試験)	ホールでグループ毎に作品発表を行います。発表後、各グループの作品についてディスカッションをしていきます。

### 学期末試験評価方法

出席40%、試験(作品制作)30%、平常点30%

自分たちで考えたプラン通りの作品が作られているか、ステージの形状を理解した振付・構成になっているかを評価していきます。また照明案も提出してもらい照明効果が振付・構成にあった内容になっているかも評価していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	パフォーマンス総合制作Ⅱ	山崎拓也

科目概要

3クォーターでは12月に行う《クリスマスライブ》で上演する作品制作を行っていきます。また、企画・運営・実施も自分達で行いクリエイティブな仕事について学んでいきます。  
4クォーターでは課題曲のソロ・グループ作品作成をしていきます。クライアントの要望に応えられるよう様々なジャンルの楽曲で行っていきます。

到達目標

自分の好きなジャンル以外の振付作品を作る事により自分の振付の幅を広げていきます。公演の内容やクライアントの要望に100%応えられる事がコレオグラファーとしての条件です。そこから更に自分の持ち味や自分の考えを振付に反映できるようにしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クリスマスライブ演出案・作品内容決め	イベントコンセプトを決めて全体の演出内容を決めていきます。並行して上演する作品内容を決めていきます。
第2回	制作について・音決め	仕事の役割を決めていきます。並行して上演する作品の音を決め作品作りも進めていきます。
第3回	クリスマスライブ宣伝について・振付1	宣伝するためのチラシの作成をしていきます。宣伝方法も案を出し合っていきます。並行して作品制作も行っていきます。
第4回	スタッフとの打ち合わせ・振付2	照明・音響・ステージスタッフに決定事項を伝えていきます。口頭ではなく書類を作成して伝えていきます。
第5回	作品振付3	作品制作を進めていきます。ビデオに撮り、演出が細かいところまで行き届いているか確認していきます。
第6回	照明プラン提出・作品踊りこみ	照明プランを提出して作品内容・演出にあっているかの最終確認を行っていきます。作品の踊りこみもしていきます。
第7回	作品発表(クォーター末試験)	クリスマスライブ本番を想定して衣装を着て作品発表を行います。動画撮影を行い細かい修正を行い本番に備えます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験(作品制作)30%、平常点30%  
積極的に意見やアイデアを出し行動できていたかを評価していきます。クリスマスライブの製作スタッフとしても自分の仕事を責任持って行っていたかも評価していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クリスマスライブの反省	来年度の秋公演の為にクリスマスライブの反省会を行います。組織として動けていたかなどそれぞれの報告をしていきます。
第2回	ソロ作品制作(自由曲)	シチュエーションを決めて自分が得意とするジャンル・曲でソロ作品の制作を行います。
第3回	ソロ作品発表1・ソロ作品制作(課題曲)	制作した作品の発表を行います。動画撮影をして自分の踊りを客観的に見て課題を見つけしていきます。
第4回	ソロ作品発表2・グループ作品制作(課題曲)	全員同じ楽曲でのソロ作品制作を行います。その後、グループ分けを行いそれぞれの作品制作を行います。
第5回	グループ作品発表・全員で作品制作1	グループ作品制作の発表を行い各グループの作品についてディスカッションをしていきます。その後、全員での作品制作を行います。
第6回	作品制作2	イベントを企画してそれに沿った作品内容の制作を行います。構成・演出もイベント内容に沿わせて行きます。
第7回	作品制作3・照明プラン提出	引き続き振付作業を行っていきます。その作品に合った照明プランの提出もしていきます。
第8回	作品発表(学期末試験)	制作した作品を衣装をつけて発表します。動画を撮影して作品に対しての意見を出し合いディスカッションしていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、試験(作品制作)30%、平常点30%  
2週間に1回の発表になるので適当な振付になっていないか、曲にあった作品制作が出来ているかを評価していきます。全員での作品制作は自分の意見が言えて積極的に貢献しているかを評価していきます。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ダンスインストラクション I	武井一仁

科目概要

ダンスの「指導法」を身につけていきます。指導とはそのほとんどが観察力とコミュニケーションです。いかに自分の思っていることを相手に伝えるか、自分の発する言葉に説得力があるかが、非常に重要になっていきます。また、人の発表を分析し自身の参考にしましょう。発表後は、みんなでディスカッションし確認作業を行います。

到達目標

1・2クォーターでは、自分の作った振付を、クラスメートに伝えることから始めましょう。まだ「指導する」段階ではありません。自分の頭の中にあるものを、クラスメートの身体を通して具体化していく作業を経験しましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	これからやる授業で内容について説明していきます。まずイメージを持ちましょう。
第2回	振付発表①	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。テンション高く進めるよう心掛けてください。
第3回	振付発表②	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒のテンションを上げられるようにしましょう。
第4回	振付発表③	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。大きな声でしっかりと行ってください。音楽の音量も重要です。
第5回	振付発表④	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。緊張すると思いますが、落ち着いて進行しましょう。
第6回	振付発表⑤	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。進行の速度が適切だったか、テンポよく進行出来たかもポイントです。
第7回	振付発表⑥	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が見やすいように立ち位置を変えたりラインチェンジをしましょう。

クォーター末試験評価方法

出席20%、発表内容50%、平常30%  
試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。  
観察力、分析力などを磨きましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	振付発表①	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。その場を仕切って上に立てているかが重要です。
第2回	振付発表②	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。時間の配分は計算できているか確認しましょう。
第3回	振付発表③	2人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒の観察がしっかり出来るよう集中しましょう。。
第4回	振付発表④	3人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒を良く観察し適切な注意を与えましょう。
第5回	振付発表⑤	4人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が覚えやすいように振付を進行しましょう。
第6回	振付発表⑥	5人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒全体を対象に説明出来たかも大事なポイントです。
第7回	振付発表⑦	6人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。口調は指導者として適切か確認しましょう。
第8回	振付発表⑧	7人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。楽しく汗をかけるレッスンだったか内容をチェックしましょう。

学期末試験評価方法

出席20%、発表内容50%、平常30%  
試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。  
観察力、分析力などを磨きましょう。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ダンスインストラクションⅡ	武井一仁

科目概要

3クォーターでは引き続き1人ずつのコンビネーションの振り移しを行いますが、春学期よりも「指導」を意識しましょう。4クォーターでは3人1組で指導を行います。1人がリーダーを、2人がアシスタントを受け持ち、連携して指導することにチャレンジしてください。

到達目標

事前に指導の計画を立てて、その通り実行していきます。特に4クォーターでは、3人の連携をしっかりと取りましょう。現場では予期せぬことが起こりますので、臨機応変に対応出来るよう、周囲をよく観察し、空気を読み進行するように心がけましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	振付発表①	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。踊りながらカウント出来るかも大きなポイントになります。
第2回	振付発表②	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。明確なカウントが取れるように心がけましょう。
第3回	振付発表③	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が真似しやすいように振付をクリアに踊りましょう。
第4回	振付発表④	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。またレッスンを受けたくなるような盛り上がる内容にしましょう。
第5回	振付発表⑤	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。質問を受け付けたか、適切に応えることも重要です。
第6回	振付発表⑥	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒を観察し、覚えられない人へのフォローをしましょう。
第7回	振付発表⑦	1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。人前に立つ覚悟は出来てきたか確認しましょう。

クォーター末試験評価方法

出席20%、発表内容50%、平常30%  
試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。  
観察力、分析力などを磨きましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	振付発表①	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。事前に進行内容をしっかりと計画し丁寧な指導をしましょう。
第2回	振付発表②	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。計画したことを実践できたか、臨機応変な対応が出来たかも重要です。
第3回	振付発表③	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。役割分担は確立できたかどうかポイントになります。
第4回	振付発表④	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。リーダーとしてアシスタントを使えたかを確認しましょう。
第5回	振付発表⑤	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。アシスタントとしてリーダーをサポート出来たかを確認しましょう。
第6回	振付発表⑥	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人の連携は上手いだったかを確認しましょう。
第7回	振付発表⑦	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人の立ち位置は適切か、連携に注意しましょう。
第8回	振付発表⑧	3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人で生徒をフォローし、より良い指導が出来たかが重要です。

学期末試験評価方法

出席20%、発表内容50%、平常30%  
試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。3人の連携や対応力を養いましょう。

## ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	コンピュータリテラシー I	有馬 知章

### 科目概要

コンピュータの基本操作を覚え、身近な道具としてコンピュータを活用していくための基礎をとなる能力を修得します。第1クォーターはプロフィール作成を中心に、第2クォーターではフライヤー制作を中心に学習していきます。

### 到達目標

Wordを使用して、写真を含むプロフィールを完成させます。Photoshopを使用してダンスイベントのフライヤーを完成させます。

### 授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	科目の特徴や履修上の注意点などについて
第2回	Hello! Windows	コンピュータの基本事項について学習
第3回	文字を打とう	文字を打つ練習をしながら、ワープロソフトの基本機能を学習
第4回	プロフィール作成	プロフィールのテキスト部分を作成
第5回	スマホで写真を撮る	スマホのカメラで写真を撮り、コンピュータに取り込んでみる
第6回	プロフィール作成作業	写真・文章を配置してプロフィールを作成します
第7回	作品提出	プロフィールを完成させて提出

### クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
作成したプロフィールについて、相手に伝わりやすいか。読みやすいか、授業の指示を守っているか等を審査・評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Photoshopの基本操作	Photoshopで何ができるか？
第2回	画像の編集と加工1	写真などの色の修正や傷などの修正方法について学習
第3回	画像の編集と加工2	レイヤーという機能を使って画像合成をしてみます
第4回	画像の編集と加工3	文字の入力やその修飾方法について学習します
第5回	画像の編集と加工4	応用的で面白い効果を演出する方法について
第6回	フライヤーの作成	作成作業
第7回	フライヤーの作成	作成作業
第8回	フライヤーを完成させ提出	完成させる

### 学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
作成したフライヤーのオリジナリティ、ユニークさ、全体のバランス、授業の指示を守っているか等の審査と、出席状況・授業態度から評価します。欠席5点、遅刻3点、忘れ物5点を平常点から減点します。

## ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンピュータリテラシーⅡ	有馬 知章

### 科目概要

ダンス用の楽曲を、自分で用意したり、あるいはコンテンツに合わせて楽曲を編集したりすることができるように、音楽の制作の基礎について学習していきます。3クォーターではMIDI楽器を使って、4クォーターでは簡単なオーディオ編集、ループの作成について、学習していきます。

### 到達目標

DTMソフトCubaseを使って、MIDIデータの作成、オーディオファイルの編集を習得し、ダンス用のBGMを自分で作れるようになります。

### 授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション	この授業の目的とデモンストレーション
第2回	MIDIって？	Cubaseの基本操作
第3回	楽曲を入力してみよう1	ドラムパターンを入力してみます。
第4回	楽曲を入力してみよう2	ベース、メロディを入力してみます。
第5回	制作実習1	任意の楽曲を選んで、ドラム・ベース・メロディを入力
第6回	制作実習2	任意の楽曲を選んで、ドラム・ベース・メロディを入力
第7回	作品提出	実習で作成したMIDIデータの提出

### クォーター末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
制作したMIDIデータの完成度と、出席状況・授業態度、事業の指示を守っているか？から評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オーディオとMIDI	音をコンピュータに記録する仕組みと、MIDIとの違いについて
第2回	オーディオ取り込み	CDからオーディオファイルを読み込み、フェイドイン・アウトを使って曲をつなげます。
第3回	オーディオ編集1	オーディオ編集のポイントと基本テクニック
第4回	オーディオ編集2	オーディオファイルからテンポを抽出するために、綺麗なループを作成します。
第5回	制作実習	編集したオーディオデータと自分で作ったMIDIファイルでリミックスを作成します。
第6回	制作実習	任意の楽曲を編集してみよう！
第7回	制作実習	任意の楽曲を編集してみよう！
第8回	作品提出	実習で作成した編集データを提出

### 学期末試験評価方法

出席40%、テスト30%、平常点30%とします。  
制作した編集データのアイデア・完成度と、出席状況・授業態度、授業の指示を守っているか？から評価します。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ソルフェージュ I	河村 智昭

科目概要

- ・メロディを聴いておぼえる、メロディを聴いて階名唱する
- ・楽譜を見て歌う、鍵盤で弾く
- ・知っている(おぼえた)メロディを楽譜に書いてみる
- ・いろいろなキー(調)、いろいろな拍子

到達目標

演奏家でなくても、尚美のあらゆる学科は音楽とつながった世界で仕事をするようになります。プレイヤー、スタッフ、マネージャーなど、あらゆる人たちとのコミュニケーションに必要な楽譜の知識、読み書きなどを、楽しみながら学んでいきます。経験がない、不得手という人も心配不要です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	自分は「音階」を持っているか？ 授業をスタートするにあたって、これまでの経験や理解度を確認します。
第2回	階名唱	知っている歌、おぼえた歌を階名(ドレミ)で歌えますか？
第3回	記憶階名唱	音を聴いて階名(ドレミ)を当てる。知っているメロディに階名をつける。知っているメロディを鍵盤で弾いてみる。
第4回	メロディ初見	楽譜の基礎知識。五線譜や音符、いろいろな記号と名前を知る。簡単な楽譜(メロディ)を見て歌って(弾いて)みましょう。
第5回	メロディ初見・記譜	初めて見た楽譜をすぐに歌う、弾く。おぼえたメロディをもう一度楽譜に書けますか？
第6回	記憶階名唱・記譜	メロディをおぼえて階名唱する。楽譜に書いてみる。次週の試験について説明します。
第7回	中間試験	授業で扱ったメロディをおぼえて(暗譜)階名唱する。鍵盤で弾く。楽譜に再現してみる。

クォーター末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。自分で好きな課題を選んで、暗譜で歌う(階名唱)、暗譜で弾く、もう一度楽譜に書く試験です。評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メロディ初見・記譜	1クォーターで扱った曲のメロディやリズムを少し変えてみます。どこが変わったのかを発見し、演奏します。
第2回	聴き取り(リズム・歌詞)	「元気を出して／竹内まりや」を題材に、聴きながら歌詞を書き取る、おぼえて歌う、弾くなどに挑戦してみましょう。
第3回	聴き取り(リズム・メロディ)	「元気を出して」の歌詞を、8分音符刻みでタイミングを判断し、グラフ上に記入します。また鍵盤で階名を探ります。
第4回	いろいろな拍子	これまでの全ての課題は4分の4拍子でしたが、4分の3拍子、8分の6拍子の課題を歌い、弾いてみます。
第5回	いろいろな拍子	4分の3拍子と8分の6拍子の書き方の違いを理解し、いろいろな課題を実施します。
第6回	いろいろな拍子	これまでに扱った(おぼえている)課題の拍子を変える、メロディを変えるなどのバリエーションに挑戦します。
第7回	試験準備	次週の期末試験用の課題を提示し、拍子、リズム、音程などの確認の後、歌う、弾く練習を行います。
第8回	期末試験	授業で扱ったメロディをおぼえて(暗譜)階名唱する。鍵盤で弾く。楽譜に再現してみる。

学期末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。自分で好きな課題を選んで、暗譜で歌う(階名唱)、暗譜で弾く、もう一度楽譜に書く試験です。評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。



ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ソルフェージュⅡ	河村 智昭

科目概要

- ・初見視唱、初見奏、リズム打ち、リズム読み
- ・和音(コード)とコードネーム、ベース音
- ・ハモリ、アンサンブル、合奏
- ・弾き語り

到達目標

3クォーターは特にリズムに注目し、またメロディだけでなく、コードネームからベース音、和音などを判別し、歌ったり弾いたりできるようにします。  
4クォーターは、メロディに対してのハモリ、アンサンブル、合奏、さらには弾語りなどに範囲を広げ、いろいろな楽譜に対応できることを目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	8分の6拍子の復習	「元気を出して／竹内まりや」を4分の4拍子から8分の6拍子に。 「actuality／柴咲コウ」の楽譜
第2回	16分音符を含むリズムパターン	4分の4拍子で使われる、16分音符を含むリズムパターン全てを読める、演奏できる、書けるようにする。
第3回	16分音符を含むリズムパターン	リズムに重点を置いた課題の実施。 4分の4拍子課題①②
第4回	リズム課題、コードと伴奏	リズムに重点を置いた課題の実施。 コードを見て鍵盤で弾く。コード(右手)とベース(左手)
第5回	伴奏と弾き語り	メロディ、コード、ベースの3パートを両手で弾くには。 メロディを歌いながら両手で伴奏(弾き語り)をする。
第6回	総合課題、試験準備	授業内で扱ったリズムに重点を置いた課題の復習。 次週の試験の準備をします。
第7回	中間試験	授業内で扱ったリズム総合課題を、階名唱または鍵盤奏する。 楽譜を見ながらでよい。

クォーター末試験評価方法

自分で好きな課題を選んで、リズム打ちをする、リズム通りに階名を読む、歌う、弾くなどを行います。暗譜は必須ではありません。  
評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	初見視唱、初見視奏	簡単なメロディを初見で歌う、弾く メロディの一部を変えてみる。フェイク、バリエーション。
第2回	アンサンブル(コードとハモリ)	コードネームを見て、ベース音を判断する。 コードの構成音を考え、任意の音を選びハモってみる。
第3回	アンサンブル(コーラス、合奏)	「Silent Night」(4パート)を、合奏する。合唱する。 ヘ音記号を読む。
第4回	総合課題	歌う、弾く、ハモる、弾き語りするなど、いろいろな演奏形態で課題を実施します。
第5回	ピアノ奏、メロディと伴奏、合奏	期末試験課題① メロディ+ピアノ伴奏課題。各パートを弾く。複数パートを同時に弾く、弾き語りするなどに挑戦。
第6回	ポップス曲を歌う	期末試験課題② 「ただ今日も信じてる」 歌詞付きのポップス楽曲を楽譜で提供。「歌」として仕上げてみる。
第7回	ピアノ奏(テンポとスピード)	期末試験課題③ メロディ課題。早いテンポの曲を、鍵盤や旋律楽器で弾いてみる。
第8回	期末試験	期末試験課題①～③のうち、いずれかを実施。練習の成果をいかに見せるか、完成度をいかに高めるか。

学期末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。  
自分で好きな課題(①～③)を選んで、歌う、弾く、ハモる、弾き語りするなど、自分に可能な形態で演奏し、楽曲(音楽)として成立するまで取り組んだかを評価します。  
評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
春	ヒップホップ I	山崎拓也

科目概要

ヒップホップダンスの基礎を中心に学んでいきます。リズムの取り方(アップ・ダウンなど)、体の部分部分を独立させて動かすアイソレーションを覚えていきます。難しく見えるステップも1つ1つ解説しながら頭ではなく体で覚えていきます。

到達目標

リズムトレーニングではアップとダウンの違いを理解できるようにします。アイソレーションは部分的に独立させて動かすにはどこを意識しなければならないかを考えながら行い体に染みつかせていきます。それだけが単体で出来るようになったら振付に反映できるようにしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムトレーニング	基本中の基本のアップとダウンを覚えます。アップとダウンを行いながら2ステップ、4ステップなども行っていきます。
第2回	アイソレーション	首、胸、肩、腰のアイソレーションを覚えます。どこに力を入れると動かなど体の仕組みも理解します。
第3回	リズムトレーニング & アイソレーション	リズムキープをしたままアイソレーションを行っていきます。2つの事を同時に出来るように反復練習します。
第4回	ステップ練習①	ヒップホップの代表的なステップを覚えていきます。ただステップを踏むのではなくリズムキープが出来るように練習します。
第5回	ステップ練習②	リズム重視のステップを覚えます。リズムキープが出来る事が目標で更にアイソレーションも入れられるようにしていきます。
第6回	おさらい	ここまでで習った事を応用した振付を覚えて自分なりのヒップホップを表現していきます。
第7回	発表(クォーター末試験)	短い振付を覚えて少人数ずつ発表していきます。アドバイスをし自分の動きの幅を広げていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%  
アップとダウンの違い、アイソレーションを理解できているか、ステップもただ踏むのではなくリズムを理解しながら踏めているかを見ていきます。また、日頃の態度(遅刻、マナーなど)も重要視していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	復習①	リズム取りとアイソレーションの向上をしていきます。自分で理解して使い分けが出来ているか確認していきます。
第2回	復習②	リズムキープをしたままステップの練習をしていきます。アップなのかダウンなのか自分で感じながら練習していきます。
第3回	3つの動きの確認	アイソレーションを使いリズムキープしたままステップ練習をしていきます。3つの動きを同時に出来るか確認していきます。
第4回	ステップの応用	今まで習ってきたステップの応用をしていきます。アップ・ダウンと2つのリズムで同じステップ練習を行っていきます。
第5回	ステップ練習③	リズムが複雑なステップを覚えます。しっかりとリズムを刻みながらステップが踏めるように練習していきます。
第6回	技練習①	ヒップホップで使われる技を覚えていきます。形、流れを理解して正しい形で技が出来るように練習します。
第7回	技練習②	前回学んだ技を振付の中で行えるようにしていきます。技単体ではなく流れの中で行えるように練習します。
第8回	試験(学期末試験)	技、ステップが入っている振付を覚えて発表していきます。それぞれが単体にならず1つの流れとして見せられようしていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%  
1クォーターで学んだ事を理解して使いこなす事ができているかを評価してきます。また新しいステップや技など最初は出来なくても諦めないで何度も挑戦していく姿勢も評価のポイントとしています。

ダンス学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヒップホップⅡ	山崎拓也

科目概要

ヒップホップをさらに追求していきます。ステップ、ボディコントロール、音に対するアプローチなど学んでいきます。楽曲にあった体の使い方、踊り方を学んで自分の踊りの幅を広げていき、いろいろな表現が出来るようにしていきます。

到達目標

踊りの中で緩急をつけられるようにただ踊るのではなく体の使い方を理解し、いろいろな曲を聴いてその曲に合った踊り方が出来る事を目標とします。ただ体を動かすのではなく自分で意識をして形を表現できるようにしてそれが無意識に出来るようにしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ゆっくりな曲	テンポの遅い曲で踊ります。曲が遅いので、体を大きく使わないと音が余ってしまうのでいつもよりも大きく踊ることを心がけます。
第2回	速い曲	テンポの速い曲で踊ります。曲が速いので、体が流れないように体を締めて正確に踊れるように心がけます。
第3回	違う曲で同じ振りを踊る	曲によって音の取り方ニュアンスが変わってくるのでそれに対応した踊り方が出来るようにしていきます。
第4回	フロアーを覚える	体を痛めないフロアーへの入り方を覚えます。体の使い方、流れを理解してスムーズに行えるようにします。
第5回	フロアーと技のコンビネーション	2クォーターで習った技とフロアーを合わせていきます。単体の動きにならずに流れを意識していきます。
第6回	ステップ・フロアー・技のコンビネーション	ステップ→フロアー→技の流れをスムーズに行えるようにしていきます。1つ1つ単体の動きにならに用気をつけます。
第7回	発表(クォーター末試験)	ステップ→フロアー→技が入った振付を覚えて発表します。すべての流れを理解しスムーズに行えるようにします。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

自分なりにいいので曲のイメージ、遅い曲、速い曲などその曲にあった踊り分けが出来ているかを評価していきます。フロアー、技は出来なくても怖がらずに挑戦をしていく姿勢があるかを評価していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	振付①	振付を覚えるスピードを鍛えていきます。少ない振り入れで正確に振付を覚えられるようにしていきます。
第2回	振付②	グループ分けをして振付にフォーメーションをつけていきます。振付だけではなく立ち位置も正確に覚えられるようにしていきます。
第3回	振付③	振付に構成をつけていきます。自分がどのタイミング踊るか理解できるようにしていきます。
第4回	発表	グループ毎に発表をします。人に見られていても自分の踊りが出来ていて正確に踊れるようにしていきます。
第5回	振付④	グループ分けをして前回よりも長い振付を覚えていきます。自分のパートを正確に踊れるようにします。
第6回	振付⑤	振付の中にソロパートを作るのでそこを自分で考えて作ってみます。自分の最大限を出せるようにします。
第7回	振付⑥	踊りこみをしていきます。発表の時に着る衣装を話し合い決めていきます。
第8回	発表(学期末試験)	衣装付で発表を行います。1年間のまとめとしてどんな1年だったか、2年に上がったならどうなりたいか発表します。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

今まで習ってきた事や応用した振付をグループ毎に覚えて人前で踊る度胸をつけていきます。1人で踊るのではなくグループの皆で踊っていることを感じてチームとして踊っているかを評価していきます。